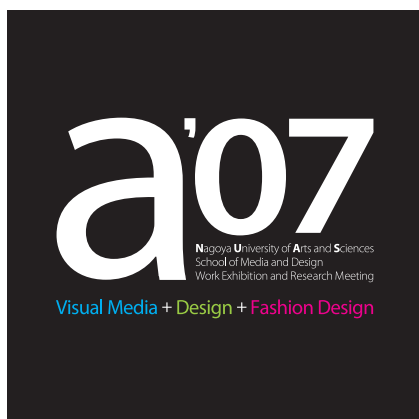


「a'07教員作品展」のプレスワーク 広報ツールとサイン計画におけるデザイン

Pressworks for the “a'07 Work Exhibition”
The Designing Works into Public Tools & Sign Planning

デザイン学科・助手
Department of Design・Research Associate

柴田 知司 Satoshi SHIBATA



[fig.01] logotype

Color :

- Department of Visual Media : C.M.Y.K=100.0.0.0
- Department of Design : C.M.Y.K=50.0.100.0
- Department of Fashion Design : C.M.Y.K=0.100.0.0

1 教員作品展・研究発表会

1.1 展覧会の概要

教員作品展・研究発表会「a'07展」は名古屋学芸大学メディア造形学部の3学科(映像メディア,デザイン,ファッション造形)の教員66名の出展者からなる,様々な専門分野における作品制作活動・研究発表を目的とした展覧会である。2007年8月30日(木)から9月2日(日)の4日間,午前9時半から午後7時(日曜日は午後5時)の時間帯において名古屋市東区にあるカルポート東3・4Fの名古屋市民ギャラリー矢田(展示室1~7)で開催された。

1.2 プレスワーク制作の背景

今回,私は展覧会の実行運営委員より,展覧会に関するプレスワークのデザインの依頼を受け,ポスター,DM(ダイレクトメール),フライヤー,サイン,キャプション,ネームカード,ウェブサイトのコンセプトイメージといったコンテンツ全般をディレクションし,紙媒体を主として制作を行っている。また同時に,今回のプレスワークを個人作品の制作物・活動としても発表する。

2 プレスワークのデザイン

2.1 デザインのコンセプト

今回の展覧会の開催目的は,学部としての各教員の制作・研究活動報告が主であるが,それに加えて名古屋学芸大学自体の大学広報を行う事も趣旨に含まれていた。そのため,広報ツールのデザインを行うにあたり,まずは名古屋学芸大学のイメージをビジュアルで分かりやすく伝えられるようなモチーフを選択し,下記の2点をデザインのコンセプトとしている。

01. 大学のキャンパスを利用したビジュアル
02. 学科の基調色を強調したカラーイメージ

展覧会名である「a'07」の「a」はアルファベットの1番目という事から「始めに」という意を持って付けられている。そのため,基本となるロゴタイプ[fig.01]に関しては,展覧会名である「a'07」を大きく打ち出し,その下に名古屋学芸大学,展覧会正式名称の英語訳と,3学科の名前をそれぞれの基調色でカラーリングして配置した。



[fig.02] direct mail_back side

Paper : ヴァンターボ V White 180kg (ニス加工)
 Paper Size : W×H=230×100mm
 Print : KITO PRINTING Co.,Ltd.
 Font :
 ① Myriad Pro Regular 変形 56pt
 ② Myriad Pro Regular+Light 3.25pt
 ③ Myriad Pro Regular 6pt
 ④ Universe LT Std 55 Roman 15pt
 ⑤ Universe LT Std 55 Roman 9pt
 ⑥ Universe LT Std 45 Light 5pt
 ⑦ Universe LT Std 55 Roman 5pt
 ⑧ Myriad Pro Regular+小塚ゴシック Regular 13+11pt
 ⑨ 小塚ゴシック Light 6pt
 ⑩ Myriad Pro Light+小塚ゴシック Light 6pt
 ⑪ 小塚ゴシック Bold 11pt
 ⑫ 小塚ゴシック Light 5pt
 ⑬ 小塚ゴシック Light 5pt
 ⑭ 小塚ゴシック Regular 4pt
 ⑮ 小塚ゴシック Light 4pt
 ⑯ Myriad Pro Regular 6pt



[fig.03] direct mail_front side

2.2 各種の広報ツール

DMはメディア棟校舎を、西側から眺めた構図で線描写したものをもイメージとしている。棟の北に位置するA棟は壁面がガラス張りになっており、外部から観ると空模様が反射して映し出される。また中央のC棟は夕方になると正方形の数個のブロックカラーネオンが点灯する。こういった本学ならではの外的な視覚要素を利用し、そこに3学科の基調色を加えてビジュアルを構成した。

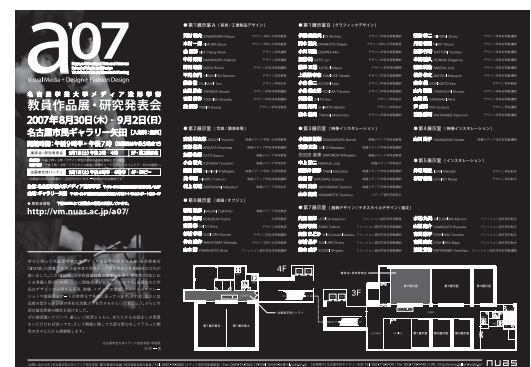
ウェブサイト [fig.04] においては、新規に追加される情報を閲覧者に補足伝達するのに利用している。デザインに関しては、コンセプトとなるイメージのみを提案し、ページ構成、サイトデザイン、システム構築はメディア造形学部助手の山本努武氏に委託した。

ポスターはDMのイメージを拡張させ、校門からD棟、第2工房までを含めたビジュアルで展開している。フライヤー [fig.05] は基本的にはポスターのデザインを利用しており、DMでは記載できなかった挨拶文、肩書きを明記した。ポスターは左図 [fig.06] と右図 [fig.07] のパノラマになっており、2つを繋ぎ合わせる要素として虹を加え、基調色の使用も交えて構成している。



Window Size : W×H=1024×768pixel

[fig.04] web site_top page



Paper : 光沢紙 / Paper Size : W×H=297×210mm
 Print : Itoubeigeisha seihanjo Co.,Ltd.

[fig.05] flyer_front side



a'07
Nagoya University of Arts and Sciences
School of Media and Design
Work Exhibition and Research Meeting

Visual Media + Design + Fashion Design

Aug.30.thu. - Sep.2.sun.2007 9:30a.m. - 7:00p.m. [- 5:00p.m. on Sunday] NAGOYA Citizens' Gallery YADA

ADACHI Youjiro | ANGATA Hiromasa | IGAKI Masashi | ITO Michiyo | INAGAKI Toshiko | UCHIDA Kazuki | OKAMOTO Shigeo | OGASAWARA Noriaki | OGAWA Akio
KATSUI Mitsuo | KATO Kazuo | KATO Jun | KAMIUSE Takashi | KAWAMURA Nobuo | KIMURA Kazuo | KIM Chang Wook | KOKUBUN Yoshiji | KOJIMA Taketaro | KOTANI Kyoji | KOYAMA Tomohiro
SAITO Akira | SAITO Aya | SAITO Masakazu | SAKONDA Nobuyasu | SANO Toshio | SHIBATA Satsuki | SHIRAYANAGI Madoka | SUGIURA Koumei | SUGIURA Shoko | SUGINO Naoya | SUZUKI Shigeko
TAKAGI Motomitsu | Tabei Katsuhiko | NAKAJI Junji | NAKAMURA Hidenori | NAKAYAMA Shinsaku | NINOMI Shunji | NISHIMURA Masaki | NIWA Tetsuo | NODA Rikichi
HAKUMAE Susumu | HATTORI Yukiharu | HAYAKAWA Takahiro | HIKARU Yukikuni | HIRAMITSU Mumon | FUJIMAKI Toru | HONMA Shigehisa
MAEDA Junji | MATSUI Nobuyuki | MIZUSHIMA Marumi | MURAKAMI Masakuni | MORIMOTO Ken
YAMAUCHI Shunyo | YAMAKAWA Hisako | YAMAGATA Ryosuke | YAMASAKI Akira | YAMADA Atsushi | YAMAMOTO Akira | YAMAMOTO Tetsuomi | YUN Sung Je | YOSHIOKA Tomoko | YOSHIOKA Mayu | YOSHIDA Shusaku
ROBIN Huang | WATANABE Katsunori | WATANABE Yoshiharu

nuas

Paper : モデラートンアイス / Paper Size : W×H=1030×728mm

[fig.06] poster_left side



a'07
Nagoya University of Arts and Sciences
School of Media and Design
Work Exhibition and Research Meeting

Visual Media + Design + Fashion Design

Aug.30.thu. - Sep.2.sun.2007 9:30a.m. - 7:00p.m. [- 5:00p.m. on Sunday] NAGOYA Citizens' Gallery YADA

ADACHI Youjiro | ANGATA Hiromasa | IGAKI Masashi | ITO Michiyo | INAGAKI Toshiko | UCHIDA Kazuki | OKAMOTO Shigeo | OGASAWARA Noriaki | OGAWA Akio
KATSUI Mitsuo | KATO Kazuo | KATO Jun | KAMIUSE Takashi | KAWAMURA Nobuo | KIMURA Kazuo | KIM Chang Wook | KOKUBUN Yoshiji | KOJIMA Taketaro | KOTANI Kyoji | KOYAMA Tomohiro
SAITO Akira | SAITO Aya | SAITO Masakazu | SAKONDA Nobuyasu | SANO Toshio | SHIBATA Satsuki | SHIRAYANAGI Madoka | SUGIURA Koumei | SUGIURA Shoko | SUGINO Naoya | SUZUKI Shigeko
TAKAGI Motomitsu | Tabei Katsuhiko | NAKAJI Junji | NAKAMURA Hidenori | NAKAYAMA Shinsaku | NINOMI Shunji | NISHIMURA Masaki | NIWA Tetsuo | NODA Rikichi
HAKUMAE Susumu | HATTORI Yukiharu | HAYAKAWA Takahiro | HIKARU Yukikuni | HIRAMITSU Mumon | FUJIMAKI Toru | HONMA Shigehisa
MAEDA Junji | MATSUI Nobuyuki | MIZUSHIMA Marumi | MURAKAMI Masakuni | MORIMOTO Ken
YAMAUCHI Shunyo | YAMAKAWA Hisako | YAMAGATA Ryosuke | YAMASAKI Akira | YAMADA Atsushi | YAMAMOTO Akira | YAMAMOTO Tetsuomi | YUN Sung Je | YOSHIOKA Tomoko | YOSHIOKA Mayu | YOSHIDA Shusaku
ROBIN Huang | WATANABE Katsunori | WATANABE Yoshiharu

nuas

Paper : モデラートンアイス / Paper Size : W×H=1030×728mm

[fig.07] poster_right side



Paper : MC画材用紙 / Paper Size : W×H=728×1030mm
Print : NUAS / EPSON PX-10000

[fig.08] sign panel_B1



Paper : MC画材用紙 / Paper Size : W×H=420×850mm
Print : NUAS / EPSON PX-10000

[fig.09] sign board_exhibition room

2.3 各種のサイン計画

今回展示を行うギャラリーでは、案内板の役割を担うサインを設置する箇所があり、ポスターとは別扱いのB1サイズパネル[fig.08]の制作を行っている。また、各展示室においてプロダクト、グラフィック、絵画、写真、映像、インスタレーション、服飾といったように、作品のカテゴリーが明確に分かれていているため、展示室前に設置するサインボード[fig.09]も分類に応じて作り分け、位置と学科、作品カテゴリーを色で区別した。

2.4 その他のツール

キャプション[fig.10]は作品の形態や制作・研究スタンスの違いにより、出展者によっては各情報に関しての有無が生じてくる。そのため、名前と名古屋学芸大学のロゴタイプ、大学における肩書き以外は記載を省いても支障が少ないように、正方形のデザインを採用している。また、会場スタッフのネームカード[fig.11]や受付におけるカードスタンドも制作し、展覧会全体を通じてのビジュアルイメージの統一を図った。

Paper : Mrs.B White 135kg
Paper Size : W×H=120×120mm
Print : NUAS / EPSON LP-8800C
Font :
① ロタン Pro Medium 23pt
② Helvetica Neue Light Italic 9pt
③ マティス Pro Light 9pt
④ ニューロダン Pro Light 8pt
⑤ Helvetica Neue Light Italic 9pt
⑥ ニューロダン Pro Medium 19pt
⑦ ニューロダン Pro Light 9pt



[fig.10] caption



[fig.11] name card

3 制作物の設置と展開

3.1 展覧会場における設置

会場においては受付でDMとフライヤーを配布。ポスター[fig.12]はフレーム＋イーゼルに立てかけ、3・4Fの会場入口と受付横での設置を行った。サインボード[fig.13]は各展示室前に立看板を設置し、簡単な作家＋作品紹介を行うとともに、鑑賞の際の順路案内としても利用している。また、ポスターとは別途作成のサインパネル[fig.14]はギャラリー外の歩道であるペDESTリアンデッキに配置して、ギャラリーへの誘導を促す事とした。

3.2 展覧会後の展開

展覧会の当初は、作品のカタログやDVDといった記録的な資料を、パッケージも含めて制作する事も念頭においていたが、現在、記録資料の収集や人材、スケジュール等の関係上、実現の段階までは至っていない。今後、可能であれば広報ツールやサインで作成したビジュアルと連携させ、最終的に展覧会を振り返れるような成果物を残せるようにしていきたいと考えている。[fig.15]



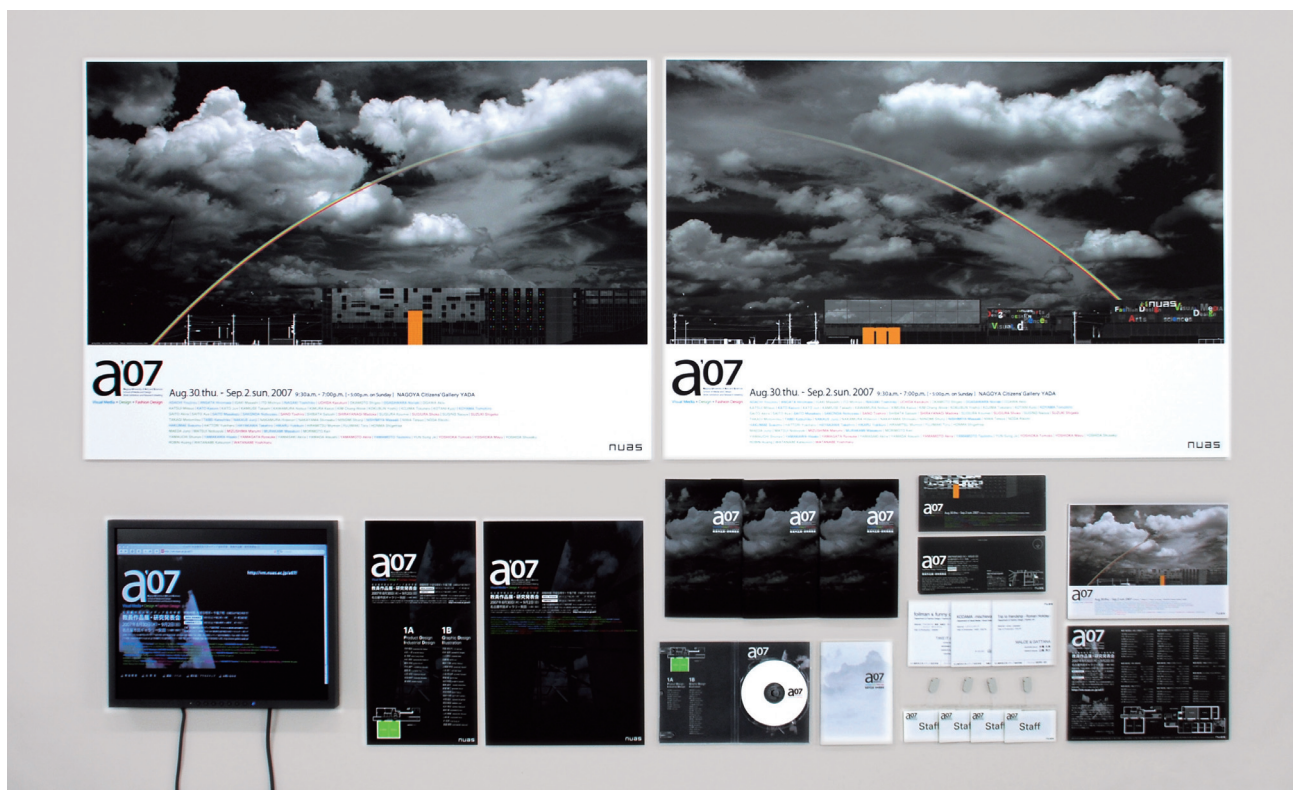
[fig.12] poster



[fig.13] sign board



[fig.14] sign panel



※カタログ・DVDに関しては今後の制作に対するイメージ

[fig.15] press work & sign & catalog